



研究部会報告

● システム最適化の理論と応用 ●

・第13回

日 時：12月14日(土) 14:00~17:00

出席者：16名

場 所：九州大学経済学部2階中会議室

テーマと講師：

(1)「ファジークラスタリングに基づく情報の検索とフィルタリング」

井上光平(九州芸術工科大学画像設計学科)

クラスタリングの方法として、従来からあるハードな手法に対して、柔軟なファジーな方法があり、類似行列のほかに共起関係行列が与えられた場合に有効である。本報告では、類似度行列を用いて凝集度を基準にして、逐次的に複数のクラスタに分解する方法、共起関係行列に基づくクラスタリング、類似度行列、共起関係行列を同時に評価する方法を提案する。

(2)「電子透かしマルチメディアのプロテクト技術」

宮崎明雄(九州大学大学院システム情報科学研究院)

画像や音声などのコンテンツをネットワークで流通させる場合に、不正なコピーを検出する方法として、画像が目立たない部分に作成者のメッセージを埋め込む方法がある。本報告では、特に、ウェーブレット変換を用いた方法について、この効率を改善する方法について述べる。これらの応用例を示し、有効性を確認する。

● グローバル政策 ●

・第14回

日 時：12月16日(土) 14:00~17:00

出席者：7名

場 所：三菱総合研究所4階CR-4会議室

テーマ：「第2次大戦の日本の行動—戦略的判断と指導者についての考察—」

講 師：湊 晋平(松山大学教授)

日本は「いかなる形で戦争終結を得るか」という計画なしに、漠然とした勝利への幻想を持って戦争を開始した。日本が外交的和平の道を探ることなく、徹底

した敗北に至った原因として4つを示す。日本の政治責任者の政治的指導能力の不足については、開戦原因及び敗戦責任について、明治と昭和の指導者を比較分析した。

● ファジィ動的計画法 ●

・第9回

日 時：12月26日(火)~27日(水)

出席者：20名

場 所：日本工業大学 学友会館B会議室

〔ファジィ動的計画法研究部会シンポジウム〕

12月26日(火) 2:00 pm~

(1)「ファジィ利得のマルコフ決定過程」

中神潤一(千葉大学)他

(2)「Delay Independent Stabilization of Delayed Systems and Conditions for the Quadratic Stabilization」

雨宮 孝(都立科学技術大)

(3)「Stopped Markov Decision Processes with Multiple Constraints」

堀口正之(千葉大学)

(4)「An Efficient Algorithm for Global Optimization Problems」

正道寺 勉(日本工業大学)

(5)「Topological Optimization Models for Communication Network with Multiple Reliability Goals」

劉(清華大学), 岩村覚三(城西大学)

(6)「多次元ファジィ数の順序付け」

吉田祐治(北九州大学)

12月27日(水) 9:30 am~12:00 am

(7)「IEEE CDC 2000とISDG(オーストラリア)会議の報告」

安田正實(千葉大学)

(8)「The 8th Bellman Continuum(台湾・新竹市)会議の報告」

正道寺 勉(日本工業大学)

(9)「環境システムと経営意志決定過程」

小田中 敏男

(10)「環境問題に対するDPの応用に関する討論」

〔日本工業大学工業技術博物館見学〕

1:00 pm~2:30 pm